

公益社団法人北海道社会福祉士会費用弁償に関する規則

規則第3号

2013年4月1日制定

2024年6月22日一部改正

(目的)

第1条 この規則は、公益社団法人北海道社会福祉士会（以下「本会」という。）の役員他会員が、会務に従事した場合の費用弁償の基本的事項について定めることを目的とする。

(対象)

第2条 この規則の適用の対象となる会務とは、次の各号に掲げる活動をいう。

- (1) 役員が、定款に定める総会及び理事会に出席すること。
- (2) 役員が、連絡調整等のために会長の命を受けて出張すること。
- (3) 委員会等の補助組織の会議の構成員としてその会議に出席し、又はその業務に参加すること。
- (4) その他会長が特に費用弁償することを承認して行う事業等に参加すること。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる場合は、原則として費用弁償の対象としない。

- (1) 役員を除く正会員が、本会の総会に参加する場合
- (2) 定款による機関及び補助組織の構成員としてではなく、単なる傍観者として参加する場合
- (3) 公益社団法人日本社会福祉士会の総会、学会に参加する場合
- (4) その他あらかじめ費用弁償の対象としない旨告知された事業に参加する場合
- (5) 本会の正会員が事務局の職員として事業に参加する場合

(範囲)

第3条 この規則によって弁償を受けることができる費用は、予算の範囲内において、次の各号に定めるものに限る。

- (1) 会務に従事するために要する交通費(以下「交通費」という。)
- (2) 会務に従事するために要する宿泊費(以下「宿泊費」という。)
- (3) 会務に従事するために必要な経費(以下「日当」という。)
- (4) その他の経費で、理事会が特に必要と認めたもの。

(交通費)

第4条 交通費は、会務に参加するために順路によって要する船賃、鉄道運賃、バス運賃、航空運賃の往復料金の実費とする。

- 2 前項の鉄道運賃は、普通料金に特別料金(座席指定料金、急行料金、特急料金等)を加えた額とする。
- 3 やむを得ない事情によりタクシーを利用した場合は、タクシー利用料金の実費を加算する。

(宿泊費)

第5条 宿泊費は、次の各号に掲げる場合に支給する。

- (1) 複数日にわたって会務に従事するために宿泊の必要がある場合
- (2) 前号以外で、理事会が必要と認めた場合

- 2 支給額については、別途定める。

(日当)

第6条 日当は、次の各号に掲げる場合に支給する。

- (1) 理事会において会長が命じた会議、連絡調整等のための出張、研修会等の運営にあたる場合
- (2) その他、理事会が特に必要と認めた場合

- 2 前項の会議が複数日に及んだ場合にあっては、その日数を乗じた額を支給する。
- 3 支給額については、別途定める。

(費用の請求)

第7条 費用の弁償を受けようとする者は、請求をしなければならない。

(前渡し)

第8条 本人が希望する場合には、要する金額を前渡しすることができる。

- 2 前項の規定により費用の前渡しを受けた者は、当該会務終了後20日以内に、

精算をしなければならない。

(委任)

第9条 この規則に定める外、必要な細目事項は、理事会において別に定める。

(改廃)

第10条 この規則を改正するときは、総会の承認を得なければならない。

附則

1. この規則は、本会設立の日から施行する。

附則

1 この規則は、2025年4月1日から施行する。